

見つけなおして! 知らず知らずのうちに**加害者**に!?



～軽はずみな発言が招く**落とし穴**～

SNSは、いろんな人と話したり、意見を言ったりできる便利な場所ですね!

でも、自分の発言が知らないうちに相手を傷つけることもあるから、気をつけたいですね!

どうすれば皆さんが楽しくSNSを使えるか、一緒に学んで生活の中でぜひ意識してみましょう!

先生からの基礎知識!

◆「誹謗中傷」は「批判」「非難」とは違う!

誹謗中傷: うそやひどい言葉で、わざと人を傷つけることです。

★悪口を言ったり、ネットでいやなことを書いたりして見たり聞いたりした人はとても悲しい気持ちになります。

批判: ものごとをよく検討をしたあと、それについて判定や評価をして相手に伝えることです。

★大切なのは、相手を傷つけるのではなく、役に立つ意見を伝えることです。

非難: 悪いことをやめさせるためにきびしく注意することです。

★悪いところを教えるけれど、どうすればよくなるかまでは教えないため改善にはつながりません。



なぞなぞの時間

はたして君は正解できるかな?



書かれてある文章は「誹謗中傷」「批判」「非難」のそれぞれどれにあてはまるかな?

①「発表がつまらなかった」

②「Aさんは発表が下手だから、グループにいない。」

③「発表では声をもう少し大きくすると、みんなにもっと伝わるよ!」 ※答えは一番下にあるよ

秘伝!! ではなく皆に広めるべし!!

SNSを気持ちよく利用するための『攻略法』

其の1. 『名前を出さなければ大丈夫』は今も通用しません!

最新の技術を使えば名前を出さなくても、その発言をした人を調べるので、悪いことを言ったりするとバレてしまいます。

だからネットでも、学校やお家でお話するときと同じように、

「ありがとう」や「すごいね!」だったり意見が違って

「そんな考えもあるんだね」など**思いやりのある言葉を使う**ことが大切です。



其の2. 『強すぎる批判』は「誹謗中傷」ととらえられるかも!

「言葉は刃物」という言葉を知っていますか?

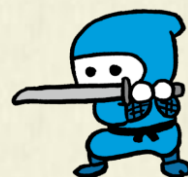
「言葉が人を傷つけることがあるよ」という意味です。

みんなが見るネットやSNSで、正しいことを言おうとしすぎて、

強い言い方になってしまうことはありませんか?

何かを言う前には「この言葉で誰かを傷つけないかな?」と

必ず一度考えることが大切です。



文字は感情が伝わりにくいものです。常に「自分が言われたらどう思うか」を考えながら発言しましょう!



トラブルが起きてしまったら？

～あせらずに調べて適切に相談を！～



トラブルが起きてしまった！そんな時は…

どんなに注意をしても、トラブルが起こってしまうことはあります。また、ネットのトラブルは様々なケースがあり、「ここに相談すれば大丈夫！」という場所はありません。トラブルが起きた時は、まずは落ち着いて保護者に相談し、その上で、適切な相談先を探しましょう。

SNS等での誹謗中傷対策（総務省）

誹謗中傷と一言にいても、色々なケースがあります。どこに相談したらいいのかわからないときは、チェックしてみましょう。



薬物に関するもの

- ◆厚生労働省 あやしいヤクブツ連絡ネット
☎ 03-5542-1865
- ◆薬物乱用防止相談窓口（宮崎県）
宮崎県薬務対策課
☎ 0985-26-7060
宮崎県精神保健福祉センター
☎ 0985-27-5663

違法・有害情報相談センター

インターネット上の違法・有害情報に対して、アドバイス関連の情報提供等をおこなう相談窓口です。様々な問題を取り扱っています。



インターネット人権相談窓口（法務省）

法務省の人権相談窓口です。相談フォームを送信すると、最寄りの法務局から回答がきます。



18歳までの子どもがつながるチャイルドライン

18歳までの子どものための相談先。お説教や命令、意見の押し付けはしません。どうしたらいいかを一緒に考えましょう。
☎ 0120-99-7777



24時間子供SOSダイヤル（文部科学省）

いじめ問題やその他のSOS全般に悩む子どもや保護者が24時間いつでも相談できます。
☎ 0120-0-78310



宮崎県子どもSNS相談

宮崎県では、宮崎県子どもSNS相談窓口を開設しています。この窓口では、いじめや友人関係、学校生活に関することや家族に関することまで、あなたの悩みを相談することができます。ひとりで悩まずに、気軽に相談してください。

LINEは
こちら



毎週月曜日・水曜日・金曜日 17:00 ~ 21:00

Webは
こちら

